



新ネットワークサービスNS@PLAT

手塚 啓一
廣兼 薫

澤田 寛治
中川 達実

インターネットをはじめとして、ネットワークの技術は日々進歩し、お客様のネットワークも複雑になっている。たとえば、企業の拠点間をつなぐネットワークは従来の専用線から、IP-VPNや広域イーサネットさらにはインターネットVPNなどの選択肢があり、お客様では自分のネットワークには何が最適かを判断することが難しくなってきた。

また、コンピュータウイルスでは従来のPC単体をクラッシュさせるものだけでなくBlasterワームのようにネットワークを機能不能にしてしまうようなものの出現などの新たな脅威が続々出てきている。さらにセキュリティに関しては、個人情報保護法の制定などの新たな規制への対応など、ITインフラを維持管理するためのコストは増す一方である。

そのような背景からお客様ではITインフラに関しては、

できるだけアウトソースし、自社のコア事業に専念したいという要望が顕著になっている。

(株) 沖電気カスタマアドテック (以下OCA) と (株) アイビー・ネット (以下IPnet) は、ネットワークに対してのお客様の高度化する要望に応え、よりお客様に価値のあるサービスを提供するために、新しいネットワークサービスを体系化した「NS@PLAT」(Network Service Platform) をリリースしたので紹介する。

NS@PLAT

NS@PLATは、図1に示すように沖電気の情報通信融合基盤であるAP@PLAT^{*1)}のコンセプトモデルにおけるネットワークサービスに位置付けられる。

NS@PLATは、以下のコンセプトに基づき開発された。

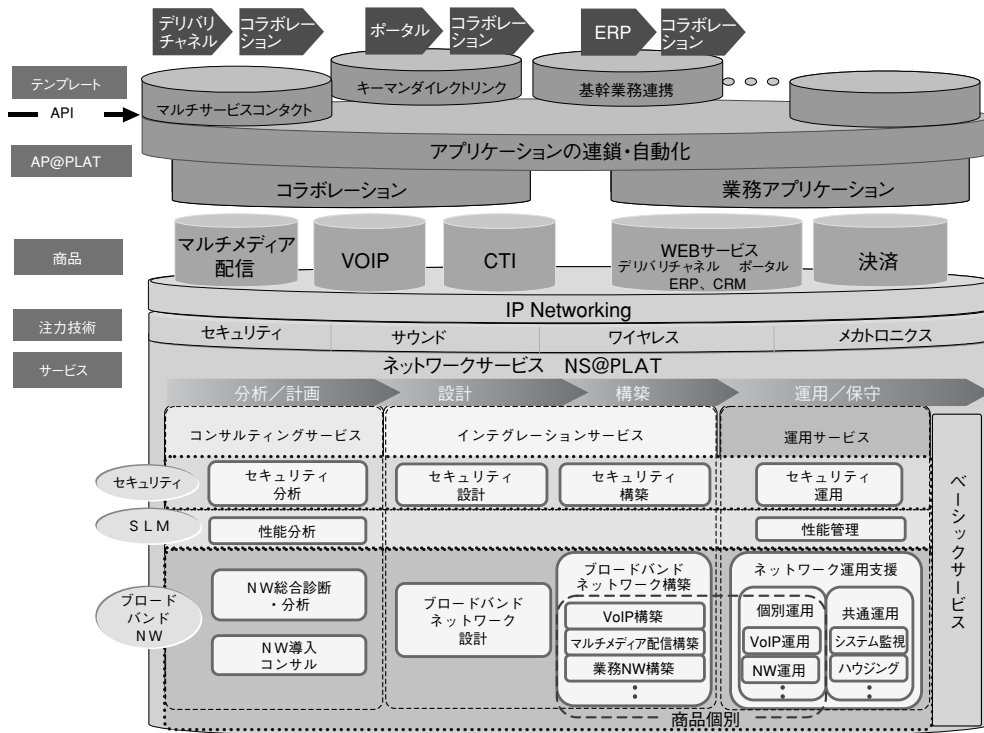


図1 NS@PLATの位置付け

*1) AP@PLATは、沖電気工業(株)の登録商標です。

- コンサルから設計構築，運用／保守までトータルにサービスを提供する。
- AP@PLAT®の商品をIPネットワーク上で利用可能とするためのサービスを提供する。

NS@PLATは，個々の商品にカテゴライズされたブロードバンドネットワークサービスと共通技術的なセキュリティ，およびSLMサービスからなる。

従来のネットワークサービスは回線とそれに付随するネットワーク機器の保守を中心としたサービスであったが，最近ではネットワークの保守だけでなく運用や企画／構築，さらには機器自体もアウトソーシングしたいという要望が顕著になった。また，個々のサービスを個別に購入するのではなくワンストップサービスとして，窓口を一本化することも求められる。

したがって，NS@PLATでは，各商品個別の構築／運用サービスと共通化されたコンサル／設計／共通運用サービスに分類し，個別サービスを選択することによりワンストップサービスを実現する。

ネットワークサービス例

以下に個別サービスの例を示し，各サービスの特徴を示す。

(1) インターネットVPN

インターネットVPNは業務アプリケーションを動作させる業務ネットワークの一つとして位置付けられる。

ブロードバンド時代の到来により，高速で安価なイン

ターネット接続サービスが提供されるようになっている。これによりインターネットが普及しはじめた頃から言われていたインターネットを使ったイントラネット／エキストラネットワークによる大幅なコスト削減が現実的になった。

しかし，インターネット上で社内情報を流すためには，暗号化と認証が不可欠となる。TCP/IPの標準暗号化プロトコルであるIPsecを使ったインターネットVPNは，安全な通信を提供する一つの解決手段である。NS@PLATでは，低価格で高性能なVPNルータであるNetScreenを使ったインターネットVPNのシステム構築，運用のサービスを提供している。

図2に運用サービスの構成図を示す。運用時の様々な作業，監視を支援し，問題発見から対処，復旧までの時間を短縮するため以下のサービスを提供する。

①ルール設定・V-UPサービス

定期的ルールの変更・ソフトのバージョンアップ，パッチの投入等を実施する。

②ログレポートサービス

VPNルータの運用状況（ログの集計，拒否通信等）を，お客様専用のWebサイトにて日々および月次で報告する。会社または自宅からでも，24時間365日VPNルータの運用状況が確認できる。

③ログ解析サービス

VPNルータの運用ログを定期的に解析し，レポートを提出するとともに設定変更作業を実施する。専門技術者がログ解析を行い，解析結果に対するコメントと対策方法をレポートとして提供する。

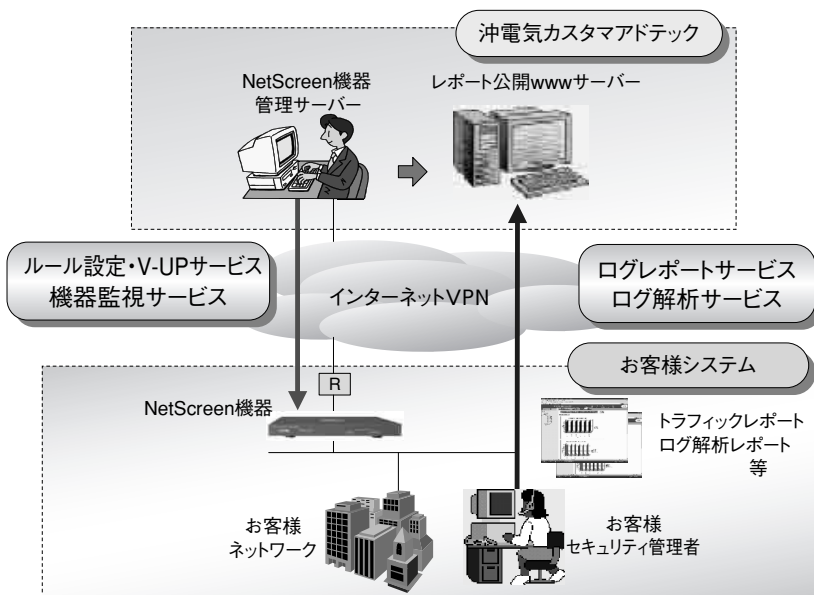


図2 インターネットVPN運用サービスの構成

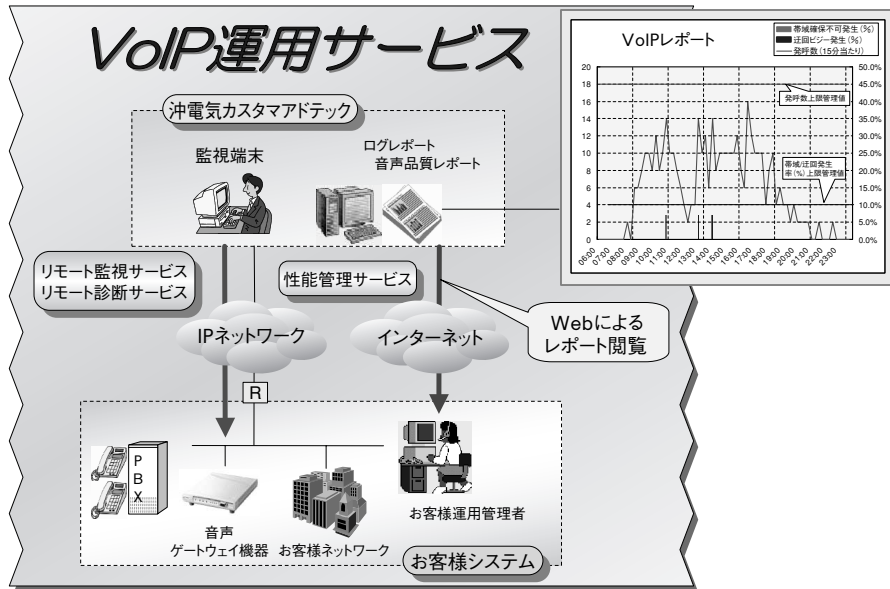


図3 VoIP運用サービス

④機器監視サービス

お客様に設置されたVPNルータが正常に動作しているか、24時間365日監視する。VPNルータの障害発生時、瞬時に障害を発見する事ができ、障害復旧までの時間が短縮される。

(2) VoIPネットワーク

企業の拠点間を結ぶ電話回線を情報系のIPネットワークと統合し、VoIPネットワークとすることで回線のランニングコストを大幅に下げることができる。

この場合に問題となるのは、音声品質を利用者にストレスを感じさせることなく、また業務データを滞りなく捌くことであり、音声とデータの帯域幅と優先制御が重要になる。

NS@PLATでは、ネットワーク設計サービスにより、

トラフィックの測定をし、最適なネットワーク設計を行う。また、運用時においても日々変わるネットワークトラフィックに追従するため、ネットワーク性能管理サービスを提供する。本サービスでは、図3に示すように、音声品質を示すR値の推移や回線の使用状況をWebサーバを通して閲覧することができる。

また、情報ネットワークのメンテナンスしか経験のない多くのお客様のために、リモートでの監視/診断サービスや局データのメンテナンスサービスをシステムアウトソーシングサービスとして提供している。

(3) FISC対応セキュリティ

従来、セキュリティは、顧客からの個別の要望によりシステムとして単体で導入される事が多かった。しかし、今日では総合的なセキュリティ対策が求められている。特

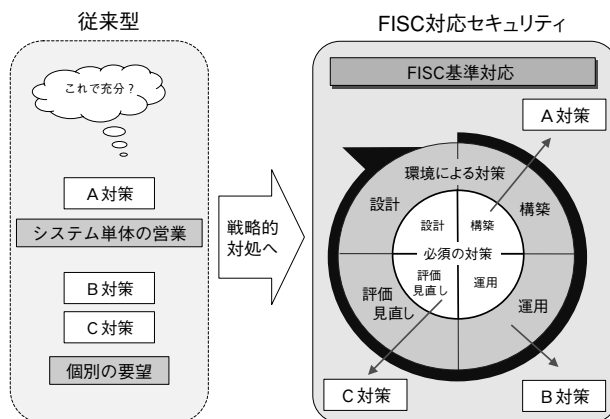


図4 FISC対応セキュリティサービス

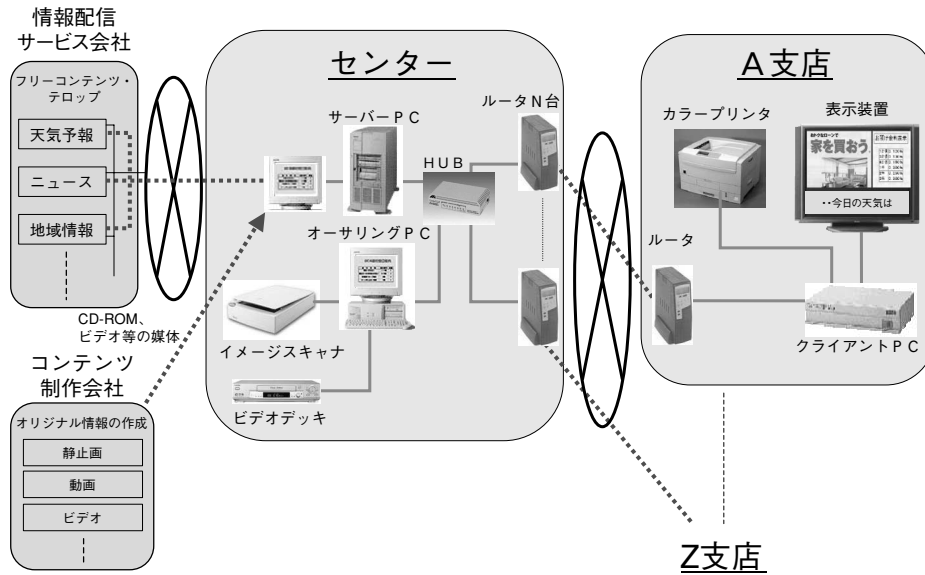


図5 マルチメディア情報配信システム構成

に金融機関にとっては、FISC（金融情報システムセンター）が提示しているセキュリティ基準を満たすことが求められている。

NS@PLATでは、市場対応のセキュリティ対策として金融市場向けのFISC対応セキュリティサービスを用意している。FISC対応セキュリティでは、対策にレベルを設定して、最低限どの組織においても実施しなければならない『必須の対策』と、より強固な『お客様環境により必要な対策』とをFISC基準と共に提案している。さらに、お客様にセキュリティサイクルの各フェーズ（設計／構築／運用／分析）に最適な対策を選択していただけるような内容になっている（図4参照）。

それぞれが、FISCのどの要求基準に適合しているかを、技術的側面や運用面において明確に提示できるところが大きな特長となっている。

(4) マルチメディア情報配信

マルチメディア情報配信サービスは、マルチメディア配信の一つとして、ブロードメッセンジャーを使ったシステムに対してサービスを提供する。図5にブロードメッセンジャーのシステム構成を示す。ブロードメッセンジャーは、遠隔地からリアルタイムの情報を更新するメッセージボードで、ネットワークを活用することによりお客様にアピールしたいメッセージを文字、音声、動画などさまざまな形で、リアルタイムに提示できる。金融機関、公共機関、病院、ホテル、レストランなど、広い地域にチェーン展開するお客様に利用いただけるシステムである。

しかし、これら業種のお客様はシステム構築運用の経験や効果的なコンテンツ作成のノウハウを持たないことが多いため、ハウジングサービス、運用代行サービス、コンテンツ作成アウトソーシングサービスなどの運用支援サービスを充実させている。特に、コンテンツに関しては、ただコンテンツを作るだけでなくニュース、天気予報などの情報コンテンツを持っているサプライヤと提携して、より魅力ある情報をお客様に提供できるように考慮している。

あ と が き

情報通信を融合したAP@PLAT®にネットワークサービスを提供するNS@PLATの特徴を示した。特に、今後需要が益々大きくなると思われる運用アウトソーシングサービスに力を入れることにより、市場のニーズに合致したサービスを提供できると信じている。今後とも単一サービスの提供からトータルアウトソーシングサービスの提供への変化に追従すべくNS@PLATをさらに継続開発し、お客様に満足いただけるサービスをめざしていく。

● 筆者紹介

- 手塚啓一：Keiichi Tezuka.株式会社沖電気カスタマアドテック ネットワーク本部 本部長
- 澤田寛治：Hiroharu Sawada.株式会社アイピー・ネット 企画開発本部
- 廣兼薫：Kaoru Hirokane.株式会社沖電気カスタマアドテック ネットワーク本部 ネットワークビジネス開発部
- 中川達実：Tatsumi Nakagawa.株式会社アイピー・ネット 企